

第3種郵便物認可

流通経大が「スポーツを想像して創造する！」

福島・いわき市で開催 ゼミ生がレポート

流通経済大学スポーツ健康科学部西機ゼミが11月22日、福島・いわき市立高野小学校・内郷第三中学校でスポーツ交流会を開催した。流通経大では、パラスポーツの普及や啓発活動に取り組んでいる。その模様をゼミ生のレポートでお伝えする。

固唾をのみ見守り

福島県いわき市立高野小学校・内郷第三中学校の体育館で、ゴールボール日本代表・山口凌河選手がボールを止めると、生徒たちの「おー、すごい！」という歓声と拍手が沸き起こった。

ゴールボールとは、選手がアイシールドという光の入らないゴーグルをつけて行うスポーツ。鈴の入ったバスケットボール大のゴム製ボールを使用。鈴の音を聞き、ボールの位置を確認し、ゴールにボールを運ぶ。

音が大切なため、誰かが投げる時は、みな固唾(かたず)をのみで見守る。ボールがゴールに入ったり、ボールを止めたりした時に沸く歓声がとても印象的だ。パラスポーツに関わる機会是非常に少ないため、初めてゴールボールを知った、触ったという大学生も多く、生徒たちに交じり楽しんでいる様子もみられた。時には大学生の投げたボールの行方に、小中学生が声を出して笑う姿も見られた。

キャンパス訪問も

今年で8年目を迎えたスポーツ交流会。交流会を始める当初は、大学で習得した知識やスキルで子どもたちを笑顔にしたいと考え、観光地へ行き子どもたちとマリンスポーツなどで交流することを検討していた。しかし、東日本大震災をきっかけに、今どこに行くべきなのか、自分たちができることは何かを考え直し、被災地で交流することを決めた。震災直後ということで、東北の県や市、教育委員会などに開催許可の交渉をしても断られ続けたが、縁があり高野小学校・内郷第三中学校で開催するに至った。初回は、バドミントン元日本代表の小椋久美子さんを招いてイベントを成功させることができた。現在は中学生が遠足や修学旅行

ゴールボール日本代表

山口凌河選手のプレーに歓声

学園祭でもポッチャ、ラグビー、トライアスロン体験活動

西機ゼミは「学生がスポーツを想像して創造していく」というテーマで、今年はより多くの人にオリパラ・スポーツを知ってもらうことを目標に活動を行っている。

6月の新松戸キャンパス(千葉県松戸市)での学園祭では、「スポーツ健康科学部や運動部の学生がいらない新松戸キャンパスの学生にスポーツの楽しさを伝えたい」と、オリパラのホストタウン活動を推進し、進める松戸市役所とパラスポーツ支援を行うNCCの協力も得て、ポッチャの体験会を企画した。子どもたちは興味津々で「早くやらせて」とい



写真②から、ラグビーボール取りの様子、モモ上げトレーニング、バイクトレーニングの体験コーナー

う声が多く寄せられ、ゼミのリーダーは「課題やアクシデントはあったが楽しんでもらえてよかったです」と語っていた。

12月には龍ヶ崎社会福祉協議会主催の「ふれあいクリスマス2018」に参加し、ポッチャで地域の障がいを持つ子どもたちとの交流を楽しみにしている。また、学内でも学生・教職員向けにゴールボール体験会を展開して、大会を開く計画もあるようだ。年明けの1月には、子ども向けのスポーツキャンプが開催される。年末年始に向けてゼミ生の活動は続く。

【スポーツ健康科学科4年 山邊遼太郎】



参加者からは「楽しかった」とい

る声が多く寄せられ、ゼミのリーダーは「課題やアクシデントはあったが楽しんでもらえてよかったです」と語っていた。

【スポーツ健康科学科4年 山邊遼太郎】



新春1月に子供キャンプ開催

トップアスリートが指導

スポーツ健康科学部では、日刊スポーツ新聞社との協働によるイベント運営や新聞紙面作りなどの実践活動を通し、スポーツマネジメントやスポーツメディアについて学ぶことができる。今回の紙面もスポーツマネジメントをテーマとして取り組む西機真准教授のゼミ生が担当、学生たちが企画運営するイベント活動を自ら取材して記事にした。

西機ゼミでは日刊スポーツの他にも、民間企業や自治体、スポーツNPOなどと協働してさまざまなプロジェクトを企画運営している。全国でスポーツ振興に取り組む「一般社団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション(USF)」とは、スポーツ施設が充実している龍ヶ崎キャンパスにトップアスリートを招いて、子どもたちが2泊3日でさまざまなスポーツを体験するキャンプを毎年実施している。年明けの1月には、流通経大卒業生でもあるラグビー日本代表の小澤大選手と元Jリーガーの



阿部吉朗氏を講師に招いて開催される。流通経大教員であり、世界体操女子日本代表監督でもある田中光教授やバスケットボール部ヘッドコーチの小谷奨助教も指導にあたる。ポッチャやブラインドサッカーなどのパラスポーツも体験できる。現在、小学3~6年生を対象に参加者を募集中。問い合わせ、申し込みはUSFのHPから03-6854-0001まで。

小中学生とパラ交流

鈴の音を追い
驚きと
笑顔



で流通経大のキャンパスを訪問するなどさらなる交流の輪が広がっている。

元氣な姿と優しさ

今年の交流会は、オリンピック・パラリンピックに興味をもって欲し

いという小中学校側の願いと、運動が苦手な子も楽しめるものにした、めったにできない経験をさせたという考えを踏まえ、ゴールボール、ポッチャ、視覚障がい体験の3つを、小中学生に体験してもらうことにした。ポッチャとは、的となる



ボール(ジャックボール)をめがけ赤いボールと青いボールを交互に投げ合うパラスポーツだ。皆で点数確認する際、大学生の質問に小学生が元氣よく答えていたり、上級生が下級生に「優しく投げたら大丈夫」とアドバイスをしていたりする姿が見

られた。給食の時には、「どれも楽しかった」「人の話を聞く大切さが改めて分かった」と感想を聞くことができた。子どもたちは、パラスポーツに関心を持ったのではないだろうか。今回のプランを考えた学生は、

◆流通経済大学 1965年(昭40)開学。現在は5学部9学科5大学院研究科を擁し、学生数は約5500人。4万人を超える卒業生は、ビジネス界はもとより、公務員、教員など多方面で活躍。多くのプロスポーツ選手も輩出している。17年度大学選手権優勝の男子サッカー部、関東大学リーグ優勝3回の男子ラグビー部、東京新大18年度秋季リーグ優勝の硬式野球部、日本学生選手権18年度男子団体優勝のトライアスロン部などの部活動も注目される。龍ヶ崎キャンパスは茨城県龍ヶ崎市120、新松戸キャンパスは千葉県松戸市新松戸3の2の1。野尻俊明学長。問い合わせは入試センター00120-297-141

「イベントを作る大変さを知ることができたが、とても楽しく来年も参加したい」と語っていた。ポッチャの道具を1つ忘れるなどのハプニングもあったが、無事に成功したといえてよいと思う。
【スポーツ健康科学科3年 公文美佐】